

「みんなの認知症予防ゲーム」における 新型コロナウイルス感染拡大予防 ガイドライン（指針）

2020年5月30日作成
NPO 法人認知症予防ネット

全都道府県における緊急事態宣言が解除され、新しい生活様式に沿いながらですが、少しずつボランティア活動も再開されてきています。しかしながら、まだまだ予断を許さない中、今後は、感染予防対策に細心の注意を払いながら、参加者さんに安心して参加していただける場を作り上げていくことが教室運営に不可欠な事柄となりました。

「みんなの認知症予防ゲーム」は、「3密」に加え、参加者さんが殆ど高齢の方々でありますので、以前のような活動内容のままで教室等を行うことは、難しい状況にあります。

そこで、NPO 法人認知症予防ネットとして、「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を作成いたしました。全ての教室やサロン、施設等において忠実な実施をお願いするものではありませんが、目安としていただければ幸いです。このコロナ禍の中で、少しでも安全・安心していただける状況で、楽しくゲームや講座を進めていきましょう。

1. ゲームの開始前に

(1) 会場・ゲーム道具の準備について

- ・スタッフは全員検温しましょう。(体温計、アルコール綿)
- ・自身の手指消毒後、テーブルや椅子、使用する部屋やトイレのドアノブの消毒を済ませましょう。
 - ・当日使用するゲーム道具は、もれなく消毒します。
 - ・椅子は、間隔を空けて座っていただくために、何時もより多く用意し、一つおきに使用しましょう。
- ・スタッフはマスクを着けます。リーダーは、フェイスシールドを使用しましょう。
- ・参加者さんの名前・住所・電話番号などを把握しておきましょう（施設においてはこの限りではありません）。
- ・日時を入れた参加者名簿を作成するようにしましょう。

(2) 参加者さんに関して

- ・入り口にアルコール消毒剤を用意し、手指消毒をしていただきましょう。
- ・マスクを使用していただきましょう。

- ・検温をしていただき、体調をお伺いしましょう。(体温計、アルコール綿)

2. ゲームでは

- ・円形に椅子を設置する場合、参加者さんには一つおきに座っていただきましょう。
- ・座学式にテーブルや机を使用される時、前後のテーブルの間隔を広く取るか、一つおきに座っていただきましょう。
- ・再開当初は、以前のようにいきなり時間いっぱいを実施せず、時間短縮するなどして、無理のない範囲で行っていただきましょう。
- ・開催中は30分おきに1度、窓や戸を開けて、5~10分くらい換気をしましょう。
- ・ゲーム中の参加者さんの水分補給は、水筒やペットボトルなど持参していただくことを勧めましょう
- ・施設等に訪問してゲームを行う時は、施設の事前の打ち合わせを行い、施設の方針に従ってゲームを楽しんでいただきましょう。

<ゲームその1>

- ・お隣との間隔を取って座りましょう。
- ・適宜、水分補給をしていただきましょう(マスク使用で熱がこもります)。

<ゲームその2>

- ・椅子に一つおきに座っていただきましょう。
- ・「リズム2拍子・3拍子・4拍子」では、スキンシップは避け、隣の空いた椅子席にどなたかが座っていらっしゃると思つて座席をタッチするなど、工夫しましょう。
- ・適宜、水分補給をしていただきましょう(マスク使用で熱がこもります)。
- ・「お手玉回し」「ドジョウさん」は、治療薬が開発され使用できるようになるまで止めておきましょう。

<ゲームその3>

- ・「ことば集め」「手作りビンゴ」で、二人で行ったりグループで行ったりする場合は、対面にならないよう、出来るだけ横並びで行いましょう。
- ・「広告パズル」は、前後左右の間隔を取って座りましょう。広告をお隣さんと交換はしないで、裏と表で2回行って楽しむなどの工夫をしましょう。
- ・「追っかけ将棋」は、治療薬が開発され使用できるようになるまで止めておきましょう。
- ・適宜、水分補給をしていただきましょう(マスク使用で熱がこもります)。

<ゲームその4>

- ・「二種類の太鼓の合奏」「風船バレー」では、隣の方との間隔を十分に取りましょう。
- ・「ビーチボールサッカー」「シート玉入れ」「じゃんけんリボン」は、治療薬が開発され使用できるようになるまで止めておきましょう。

- ・適宜、水分補給をしていただきましょう（マスク使用で熱がこもります）。

3. ゲームの終わりには

- ・茶話会の準備をする時は、スタッフは必ず手指消毒してから始めます。
- ・ゲームが終わったら、消毒または手洗いをしていただきましょう。
- ・テーブル、お盆なども消毒しましょう。
- ・茶話会でも、間隔を空けて座っていただきましょう。
- ・教室の換気をしましょう。
- ・教室の出口でお見送りする際は距離を取り、ハグや握手はしないようにしましょう。

『 養成講座を行う時 』

- ・会場の広さと募集人数が大事です。一人当たりのスペースを十分確保できる会場にし、机や椅子等の備品も余裕のある数にします。
- ・講師はマスク、フェイスシールド着用。受講生もマスク必携にしていいただきましょう。
- ・体温計、アルコール綿、消毒液を用意します。
- ・使用するゲーム道具は、事前に消毒しておきましょう。
- ・水分補給は各自でペットボトルなどを用意していただきましょう。
- ・30分に一度くらいの換気をしましょう。
- ・治療薬が開発され使用できるようになるまでは、「お手玉回し」「ドジョウさん」「追っかけ将棋」「ビーチボールサッカー」「シート玉入れ」「じゃんけんリボン」は、行わないことを確認しましょう。テキストを使用し、丁寧に講義・説明しましょう。
- ・終講後、リーダーが活動を始める際には、感染症対策を行い、安全に安心して行っていただける配慮について伝えましょう。
- ・今までと違う状況下であっても、認知症の先送りや引き戻しの期待効果に沿ったゲーム進行を常に考えて、受講生にお伝えしていくことが大事です。

以上